

**南山空哉**

(同4年)

MINAMIYAMA KUHYA

**平山貴大**

(同5年)

HIRAYAMA TAKAHIRO

**坂口竜彦**

(小木小6年)

SAKAGUCHI TATSUHIKO

小木相撲スポーツ少年団 第28回わんぱく相撲全国大会出場

小木相撲スポーツ少年団の坂口竜彦君、平山貴大君、南山空哉君の3人が、7月29日に両国国技館で開催されたわんぱく相撲全国大会に出場した。

「大会を楽しみたい」と挑んだ坂口君は、1回戦敗退。「相手が強かった。もっと強くなりたい」と気持ちを新たに練習に励む。ドッジボール少年団と掛け持ちで練習しながら出場した平山君は「1勝したかったけど、

緊張して力が出せなかった」と振り返る。保育園年長児から相撲を始め、大相撲が夢という南山君は1勝。「来年もう一度両国に行きたい」とリベンジを誓う。

指導する中剛史さんは「大会後に子どもたちの顔つきが変わった。出場できなかった子も含めて国技館で何かを感じ、成長してくれてうれしい。参加できて本当に良かった」と目を細めた。

鵜川中学校女子ソフトテニス部  
第43回全国中学校ソフトテニス大会出場

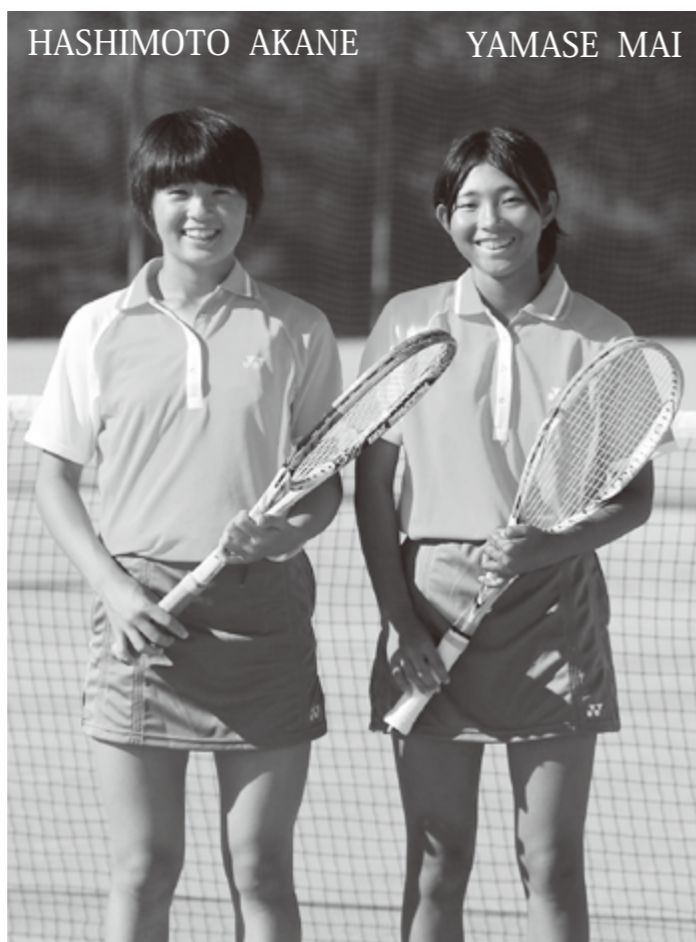
**橋本 茜** (2年)

**山瀬茉依** (2年)

「自分ができることを、しっかりやっぺいこう」山梨県甲府市で開催された全国中学校ソフトテニス大会。鵜川中女子ソフトテニス部の橋本茜・山瀬茉依組は同じ気持ちでコートに立った。昨年は1年生ながら団体メンバーとして出場。2度目の全中の舞台は、目標とした「攻める」テニスができず2回戦敗退となった。

顧問の吉延孝治先生は「県大会で第1シードを破ったことが自信につながり、北信越3位、全中出場につながった。全中の結果は悔しいが、力は出し切った」と振り返る。

「来年は団体で全中に行きたい」と声をそろえる二人。鵜川中の伝統を受け継ぎ、チームの中核として後輩たちを引っ張っていく。



HASHIMOTO AKANE

YAMASE MAI

# NOTO SPORTS SPECIAL

～全国・北信越に挑んだ小中学生～

能登町ジュニア  
第13回全国小学生ABCバドミントン大会  
ベスト32

**山本幸太** (柳田小6年)

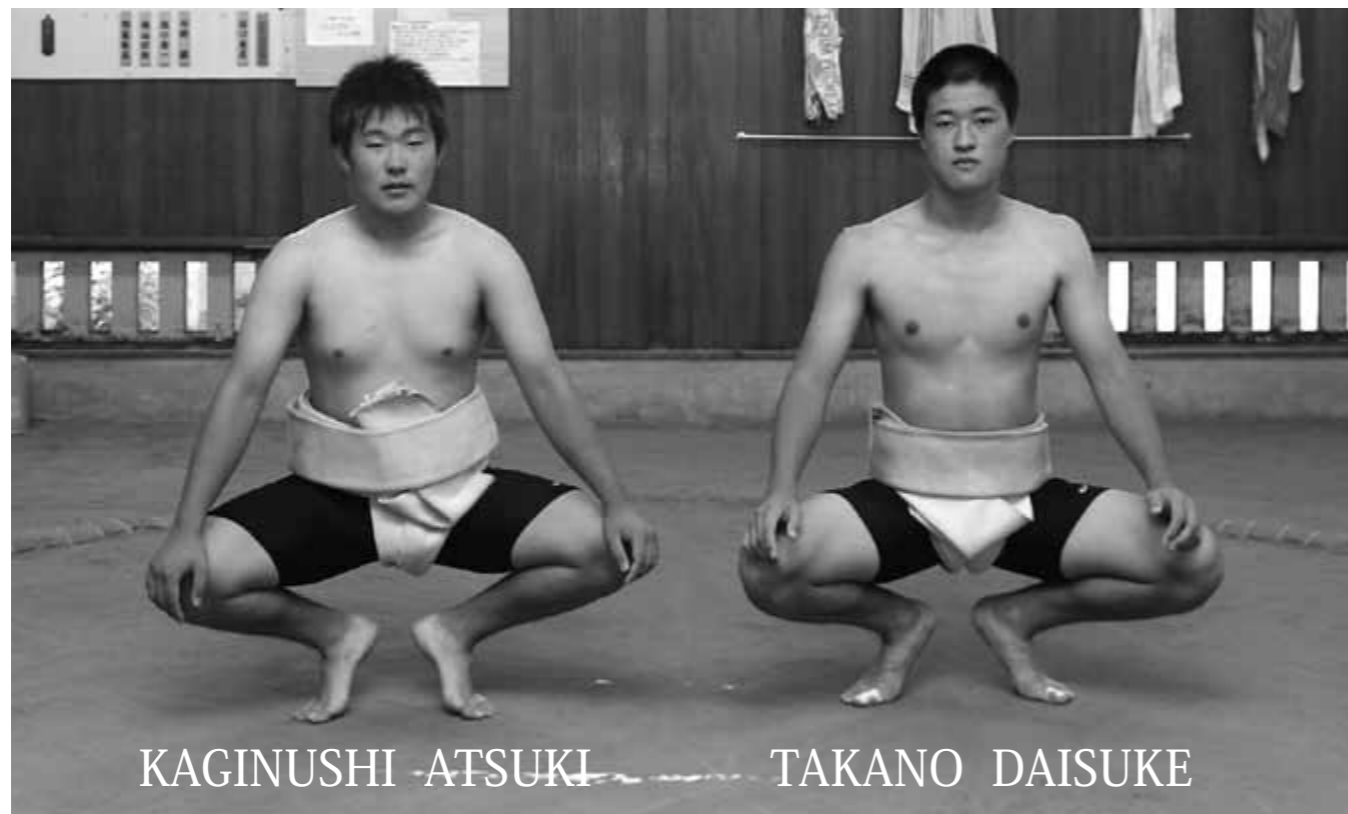
「まずは全国大会で1勝したい」能登町ジュニアの山本幸太君が、8月10日から熊本県八代市で開催された全国小学生ABCバドミントン大会に出場した。山本君にとって3度目の全国大会。2勝2敗のベスト32という成績で、初めての個人戦勝利を手にした。

指導する干場和規さんは「テクニックは全国でも十分通用するレベル。精神的に強くなったことが勝ちにつながった」と分析。「玉際のスピードにさらに磨きをかけ、冬の全国大会で石川県代表チームの勝利に貢献してほしい」と期待を寄せる。

全国大会の会場には、ロンドンオリンピック銀メダリスト、藤井瑞希・垣岩令佳ペアがサプライズで登場。山本君の夢は大きく膨らんだ。

「将来はオリンピック選手になりたい」今大会では日本代表の選手とも対戦して手応えをつかんだ山本君。全国大会という大きな舞台を、さらなる飛躍のきっかけとする。

YAMAMOTO KOHTA



KAGINUSHI ATSUKI TAKANO DAISUKE

小木中学校相撲部 北信越大会中量級 個人ベスト8

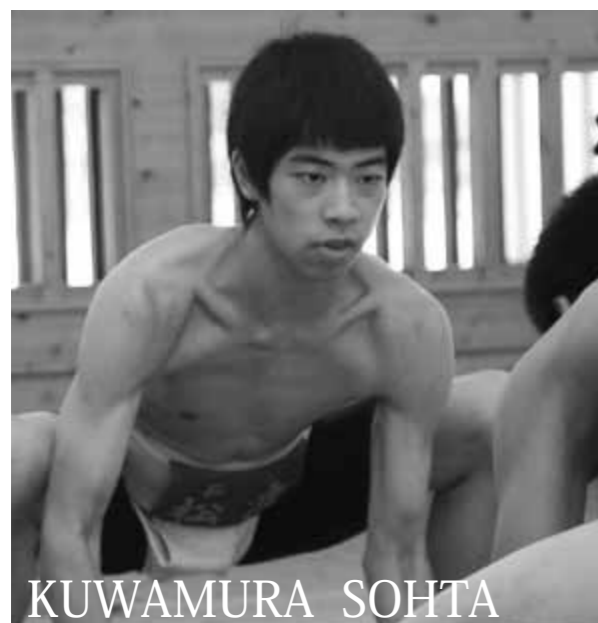
## 鍵主淳樹 (2年) 高野大輔 (3年)

小木中学校相撲部の高野大輔君と鍵主淳樹君が県大会で2位、3位となり、長野県木曾町で開催された北信越大会に出場。そろってベスト8に入賞した。

北信越3位入賞を目指した鍵主君。「1試合目は緊張して、最後は逆に気が抜けてしまった。基礎から鍛え直して、来年は今年以上の成績を目指したい」と意気込んでいる。高野君は「楽な気持ちで試合に挑もうと思ったが、ガチガチになってしまった。練習不足を

実感した」と大会を振り返る。現在は中学最後の試合となる10月の県相撲選手権に向けて気持ちを入れ替えている。「最後の試合は思い切ってやりたい」と土俵に向かう。相撲部顧問の鎌田一宏先生は「気持ちの持ち方をしっかりできればもっと勝てる。自分に負けない心を鍛えてほしい」と期待する。

小木中相撲部の活躍が、相撲どころ能登町をさらに盛り上げていく。



KUWAMURA SOHTA

松波中学校相撲部  
北信越大会軽量級 個人2回戦敗退

## 桑村颯汰 (3年)

「前、前々キャプテンと同じ北信越5位入賞を目指した」松波中学校相撲部の桑村颯汰君が2度目の北信越大会に出場。上位入賞を狙ったが惜しくも2回戦で敗退した。6月の七尾大会で右足親指を剥離骨折しながら優勝。完治しないまま県大会、北信越を戦い抜いた。後輩は1年生2人。「まじめに練習して北信越で勝ってほしい」と伝統ある松波中相撲部のタスキをつないだ。顧問の角目満先生は「相撲センスがある選手で北信越でも会場を沸かせるほど良い動きをしていた。高校へ行っても相撲を続けてほしい」とエールを送る。

鵜川中学校男子ソフトテニス部  
北信越大会 個人ベスト16

## 高宮 眞 (3年) 山下康輔 (2年)

「後輩を全中に連れて行きたい」  
「3年生最後の大会なので全中に行かせたい」  
全中出場を目指して北信越に挑んだ鵜川中男子ソフトテニス部の高宮眞・山下康輔ペア。二人がペアを組む最後の大会は、ベスト16で終わった。顧問の中社進先生は「後輩が前衛をするのはプレッシャーが大きい。その中で山下はよくやった。高宮は生活も部活も前向きで、後輩たちの良い見本となってくれた。ぜひ地元の高校に進んで全国を目指してほしい」とメッセージを送る。  
「先輩たちが築いてきた『鵜川中』の名に恥じない選手を目指した」と3年間を振り返る高宮君。「これからは自分が後輩たちを引っ張っていきたい」と意気込む山下君。共に戦った二人の間で、鵜川中キャプテンのバトンが受け渡された。



TAKAMIYA SHIN YAMASHITA KOHSUKE

## KEYAKI TAIGA



鵜川中学校卓球部  
北信越大会 個人ベスト16

## 槻 大雅 (2年)

「できるところまで行こうと思っていた」  
鵜川中学校卓球部の槻大雅君が、長野市で開催された北信越大会に出場。ベスト16まで勝ち上がった。全能登大会、県大会ともにベスト16、出場決定戦で9位となり北信越大会出場を決めた槻君。「北信越出場はうれしいが、もう一つ勝って全中に行きたかった」と悔しさをにじませる。  
卓球部顧問の柿平哲夫先生は「一度負けた相手を研究し、必ず勝つという気持ちで戦って勝利してきた」と卓球に対する高い意識を認める。  
「いろいろな大会で、強い相手と戦いたい」  
北信越という舞台を経験した槻君は、次の大会に向けて内なる闘志を燃やしている。

後列左から

水上佳彦 (3年)、橋本文明 (2年)、赤塚僚 (3年)

岩住礁汰 (2年)、折坂和希 (3年)、山瀬健一 (2年)、山本裕司 (2年)

水元祥人 (2年)、大目圭司郎 (3年)、二又宥斗 (3年)、諸角勝哉 (2年)

田中宏樹 (3年)、河村和真 (3年)、堂野政宏 (3年、取材時不在)



北信越大会に初出場

## 能都中学校男子バスケット部

「全中出場を目標にチームが一丸となった」

能都中学校男子バスケット部が創部初となる快進撃を続けた。5月の中島大会初優勝、6月の全能大会初優勝、7月の県大会では初の準優勝を果たし、北信越大会初出場を決めた。県内のライバルは全国トップレベルの布水中学校(野々海市)。主将の折坂和希君は「北信越大会の決勝で布水中にリベンジするつもりだった」と語る。

長野県松本市での北信越1回戦の相手は新潟県2

位チーム。前半、動きが固く大きくリードを許すも徐々に追いついて逆転。しかし再び逆転されて結果は58対60。わずか1ゴール差で涙を飲んだ。

顧問の林鉄平先生は「シュート力があり、走ってみんなでカバーするチーム。3年生は朝練、部活、夜練と本当に頑張っていた」と評価する。

小学校時代から県外遠征を重ね、常に高いレベルを目指してきたメンバー。誰よりも努力を重ねて、能都中バスケット部の歴史に新たな金字塔を打ち立てた。

後列左から

隅屋太郎 (3年)

紙子恭輔 (3年)

乙川一馬 (3年)

中前康太郎 (3年)

前列左から

勘平凌我 (3年)

谷口諒真 (1年)

安孫 周 (3年)



北信越大会団体戦に初出場

## 能都中学校男子バドミントン部

「中学校でもバドミントンを続けたい」

現3年生の入学とともに創部された能都中学校バドミントン部。一昨年、昨年の県大会では2回戦敗退。3年生中心となった今年は準決勝まで勝ち上がり、3位決定戦の末北信越大会出場を決めた。

長野県松本市で開催された北信越では、残念ながら1回戦敗退。1年から主将を務めてきた紙子恭輔君は「3年生はこれまで北信越団体出場を目標にやってきた。出場できて良かった」と振り返る。

創部間もない部活だけに練習場所の確保に苦労して

きた。3年生の多くは週6回の部活のほかに週4回、バドミントン協会員らの夜の練習にも参加して技術を磨いてきた。顧問の吉田朋平先生は「先輩がいない、練習環境に恵まれない中で、彼らなりに3年間頑張ってきた。お疲れさまと言ってあげたい」とねぎらう。

個人ダブルスで2年連続北信越に出場した紙子・隅屋ペア。3位に入賞して全中出場を目指したが、昨年と同じベスト8で大会を終えた。

能都中バドミントン部として新しい道を歩き続けた3年生。そのタスキを後輩たちに託す。



能都中学校男子バドミントン部  
北信越大会個人ダブルス ベスト8

紙子恭輔 (3年)  
隅屋太郎 (3年)